

2024 ～ 2025 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

●会長 前田日出夫
●幹事 福井 学

 No.1896 令和 07 年 04 月 09 日 第 31 回例会


※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー古田哲朗)



■修了証授与 (RLI パートⅢ修了証の授与)

「彌富照皇 会員」



■委嘱状授与

(米山奨学生受入クラブ: 熊本東南ロータリークラブ)



(米山奨学生カウンセラー

宮川義行 会員・生駒あき 会員・西田智史 会員)



■今月の誕生祝い

(親睦スマイル 松田和成 会員)



■会員の時間

(渡邊俊一郎 会員)



小学生の頃から野球に打ち込み、中学1年のときに「TKU ジュニアゴルフ塾」の新聞記事を父が見つけてきたことがきっかけで、ゴルフを始めました。坂田信弘プロの厳しい指導のもとキャプテンも務め、高校・大学とゴルフを続けましたが、全国の壁は厚く、プロの道は断念しました。その後は関東でゴルフの練習生として過ごし、プロ契約も経験しましたが、父の病を機に熊本へ戻り、建設業を継承。33歳で社長となり、経営の厳しさを実感しながらも、新たに住宅事業に挑戦。クレバリーホームとしてモデルハウスを展開し、多くのお客様に恵まれ、現在では県内の病院・商業ビル・工場など数々の建築を手がけるまでに成長しています。

地域活動では2020年に青年会議所の第66代理事長も務め、現在はOBとしても関わっています。ロータリーでも、内田さんが取り組まれたような社会福祉の活動を今後もっと若い世代と一緒に進めていきたいと思っています。

私はまだ44歳、もうすぐ45歳になりますが、まだまだ動けます。先輩方から「こんなことをやってみないか」と声をかけていただければ、できることを仲間と一緒に挑戦していきたいと思っています。

この間の奉仕活動も本当にいい事業だったと感じました。改めてロータリーの良さを実感していますし、今、周囲にも声をかけながら会員拡大にも取り組んでいます。大切な伝統を守りながらも、今の時代に合った形で変革していければ、東南ロータリークラブの未来も明るいと思っています。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

(幹事 福井 学)

■来信案内



1)
前田眞実 地区新クラブアドバイザー、汐月泰夫 大分キャピタル R C、上野公則 大分 OliOli R C 会長エレクトより、新クラブ誕生のお知らせ。

旧「大分キャピタル OliOli ロータリー衛星クラブ」は、2025 年 3 月 25 日付をもって「大分 OliOli ロータリークラブ」として国際ロータリーに正式な加盟が認められました。

■クラブより

1)
本日の例会終了後に第 10 回定例理事会を開催いたします。

■今後の地区行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2025 年 4 月 19 日 (土)	米山奨学生世話クラブ オリエンテーション	大分県 日田市	複合文化施設 アオーゼ	宮川義行
4 月 25 日 (金) 26 日 (土)	地区大会	熊本県 熊本市	熊本市民会館	小畑成司、武末直大、 松元将源、彌富照皇、 横山佳之、山田公也、 渡邊俊一郎、内田信行、 堤勝也、杉本整哉、 志賀重人、鈴木義親、 緒方公一、西田智史、 沼田敏雄、中島祐爾、 松田和成、松岡泰光、 宮川義行、前田日出夫、 松本一也、前田昭博、 松本繁、片岡貞志、 草村安宏、生駒あき、 古田哲朗、福井学
5 月 10 日 (土)	RLI 卒後コース	熊本県 熊本市	熊本市民会館	彌富照皇
6 月 21 日 (土) 22 日 (日)	地区ローターアクト 研究会	熊本県 熊本市	熊本国際交流会館 熊本市中央公民館他	新着

■ロータリーの情報の時間

(ロータリー情報担当委員長 松本繁)

今年度、私のロータリー情報では、私の 37 年間のロータリー歴において、私がロータリーで学んだこと（ロータリー活動で、ロータリーに関する書物で、先輩の教えで）、その学んだことを自分の人生で、また経営でいかに実践してきたかなどについてお話してきました。



今回は、書物、職業奉仕の勉強の中の一節、「ロータリーはほほえみから」についてお話ししたいと思います。

一人のロータリアンが本当にロータリーを愛し、ロータリーを心から楽しんでいるとすれば、そこにムードが生まれ、そのムードが次第に拡がって、その周囲は急に明るくなり、そこには「ほほえみ」が漂いそのクラブは実に楽しいものになるのではないのでしょうか。「ほほえみ」を失った例会は誠に無味乾燥、なんだか冷たい感じがします。とにかく例会は「ほほえみ」が一番大切、見知らぬビジターでも「ほほえみ」で迎えられたらどんなにうれしいことでしょう。

幸い、我が熊本東南ロータリークラブは、現在、ロータリーが大好きで、大いに楽しんでいる会員が多数おられるので、笑顔の絶えない素晴らしいクラブだと思います。

その中に、「ほほえみ」（笑顔）についての解説があります。

”笑顔で人に接すること。元手がいらぬ。しかも、利益は莫大。与えても減らない。与えられた者は豊かになる。どんな金持ちでもこれなしでは暮らせぬ。どんな貧乏人もこれによって豊かになる。家庭に幸せを、商売に善意をもたらす。友情の合言葉。疲れた者にとっては休養。失意の人にとっては光明。悲しむ者にとっては太陽。買うことも強要することも、借りることも、盗むこともできない。無償で与えてはじめて値打ちがある“

私は 20 年ぐらい前にこの本を読んだとき、すごく共感を覚え、それからというもの、ロータリーはもちろん会社におきましても極力笑顔でいるように努めてきたつもりですが、人にはそれがつくり笑顔であったり、愛想笑いに映ったかもしれない、自然に醸し出される「ほほえみ」とは程遠かったのではないかと感じています。これからはもっとロータリーを愛し、ロータリーを楽しんで、心からの「ほほえみ」、繁スマイルを目指していきたいと思っています。

■委員会報告

(姉妹クラブ担当委員 緒方公一)

台湾ロータリークラブ
サイクリングについて



■委員会報告

(親睦・スマイル担当委員長 松田和成)

4 月 13 日 (日)
第 2 回親睦パークゴルフ大会と
B B Q について



■出席報告

(出席・プログラム担当委員長

片岡 貞志)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
03 月 26 日	39 (免 1) 38	27	5	32	84.21
02 月 19 日	40 (免 2) 38	28 (ZOOM1)	-	-	73.68

☆出席免除

3 月 26 日・4 月 9 日
島村徹男

★欠席

川崎直樹 宮國龍乃 小野川善久 潮谷愛一 山本浩之
山坂哲生

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 生駒ちあき)



◎片岡貞志 10,000 円

クラブ創立記念(4/4)にスマイルです！
ちなみに、同日(4/4)、私も51歳の誕生日でした。誕生日プレゼントありがとうございました。



◎宮川義行 5,000 円

4月6日、大分での地区研修・協議会出席の皆さんお疲れ様でした。僕も青少年奉仕部門に出席しました。青少年部門での1番大きなテーマは危機管理の周知徹底です。特にセクハラと未成年の飲酒についてはロータリーとしての見解を近々発表するとのことでした。今回はアクトも積極的に協議会に参加しました。ご協力ありがとうございました。



◎松田和成 3,000 円

花見例会の二次会で1,000円余りましたのでスマイルします。皆様ありがとうございました。



■クラブフォーラム・

1) 次年度組織について

(次期幹事 草村安宏)



◆次年度直前会長・前田日出夫



◆次年度会長エレクト・福井 学



◆次年度副会長・彌富照皇



◆次年度会計・生駒ちあき



◆次年度 S.A.A.・西田智史



◆次年度理事・松本繁



◆次年度理事・松田和成



◆次年度理事・中島祐爾



◆次年度理事・緒方公一



◆次年度理事・古田哲朗



◆次年度理事・渡邊俊一郎



◆次年度理事の人数改正については4月9日の第10回理事会にて審議、近日中に改正案を書面にて通知します。

熊本東南ロータリークラブ役員・理事・委員会名簿

(2025～2026年度)		2025/4/9	
役 員	要 要	理 事	
会 長 堤 勝也	専任	副幹事 松田和成	幹 事 松本 繁
直 前 会 長 前田日出夫	奉仕プロジェクト委員会	副幹事 片岡貞志	松田 和成
会長エレクト 福井 学	会員増強委員会	副会計 福井 学	杉本 繁哉
幹 事 長 彌富 照皇	クラブ管理運営委員会	副会計 松本 繁	中島 祐爾
幹 事 草村 安宏	専任	副S A A 松元得潔	緒方 公一
会 計 生駒あき	専任	副S A A 古田 哲朗	渡邊俊一郎
S A A 西田 智史	専任	(内田信行) ※	(片岡貞志) ※
常 任 委 員 会		委員長	担当職務(機密)
◎クラブ管理運営委員会	彌富 照皇 (副会長)	渡邊俊一郎	片岡 貞志
		出席・プログラム (出席・プログラム・受付)	渡邊俊一郎
		会報・雑誌 (会報・雑誌・受付)	松尾 浩
		ロータリー情報	松本 繁
◎会員増強委員会	福井 学 (会長エレクト)	会員増強 (会長増強・理事増強・会員増強)	杉本 繁哉
◎公共イメージ委員会	松岡 泰光	広報 (広報全般)	松元 得潔
◎ロータリー財団委員会	武末 直大	ロータリー財団 (ロータリー財団全般)	山本 浩之
◎奉仕プロジェクト委員会	前田日出夫 (直前会長)	職業奉仕 (職業奉仕プロジェクト)	古田 哲朗
		社会奉仕 (社会奉仕プロジェクト)	宮川 義行
		青少年奉仕 (青少年奉仕・ロータリーアクト)	出先 教明 副) 宮川 義行 副) 西田 智史
		国際奉仕 (国際奉仕プロジェクト・ ※山陽学会)	小畑 成司
		姉妹クラブ (姉妹クラブ・交換生)	緒方 公一
			松本 一也 沼田 敏雄 前田 昭博 横山 佳之 志賀 重人 島村 徹男 小野川善久
◎長期戦略委員会	内田信行		松本 繁 山田 公也 前田日出夫 堤 勝也 福井 学

※クラブ細則で定められている理事の人数(7名)の変更手続きについて理事会にて審議予定

「2025～2026年度 国際ロータリー第2720地区組織」
 ■職業奉仕部門長 古田哲朗
 ■ロータリー財団部門長/危機管理委員 彌富照皇
 ■山陽学生会選挙副委員長 山田公也
 ■グローバル補助金委員 武末直大
 ■山陽資金推進委員 宮川義行

2) 青少年奉仕 収穫祭について

(青少年奉仕担当委員長 西田智史)

中間報告

6月14日(土)に開催予定



◆奉仕活動について報告

(長期戦略委員長 内田信行)

藤崎台童園・ふれあい農園の奉仕活動
 が熊本日日新聞に掲載された件の
 報告



【とびつく・熊本市】児童養護施設への農園整備で記念式典

熊本日日新聞 2025年4月4日 20:30

●児童養護施設への農園整備で記念式典 2日、中央区の児童養護施設「藤崎台童園」であり、整備に協力した熊本東南ロータリークラブ(中央区)の前田日出夫会長らが出席した。39人の会員らがクレーンなどを使って、施設内の空き地(約100平方メートル)にふれあい農園を造った。隣接する保育園も運営する社会福祉法人が、子どもたちのために使う。熊本東南ロータリークラブは毎年、熊本県内の児童養護施設に自転車購入費なども贈っている。



児童養護施設へのふれあい農園整備に協力した熊本東南ロータリークラブのメンバーら＝2日、熊本市(同クラブ提供)

■点鐘

(編集者 松尾 浩)

◆グローバル補助金でモンゴルに図書館を建設

初めてグローバル補助金を提唱したロータリーアクターが現地を感じたこと
 寄稿者：西岡通 (大阪東ロータリーアクトクラブ前会長)、井上千豪 (同クラブ前幹事)

ロータリーアクトクラブとして世界初のグローバル補助金の申請が承認された時のことは、今でも鮮明に覚えています。恥ずかしい話ですが、当初はグローバル補助金のことを何も理解しておらず、ただ「すごいことなんだ！」くらいに思っていました。プロジェクトが進み、昨年5月、補助金でモンゴルに設立した図書館を実際に視察することになりました。しかし、ここで一つの不安がありました。私たちのクラブの会員たちはグローバル補助金についてあまり理解しておらず、視察はゴールデンウィーク中だったため、モンゴルと一緒に来てくれる人はいないと思ったのです。ある晩、緊急で全員とグループ電話を行い、参加して欲しいという旨の話をすると、予想に反して9名もの会員が参加を申し出てくれました。これは本当にうれしく、訪問するからには有意義な時間を皆に過ごしてもらいたいという思いが芽生えて、身が引き締まったのを覚えています。

いざモンゴルへ

出発当日の早朝、私たちは伊丹空港の国際線発着場に集合しました。約12時間のフライトの後、チンギスハン国際空港に到着。出迎えてくださった協同提唱クラブのKhureeロータリークラブの方々と共に、首都ウランバートル市のホテルへ向かうバスに乗り込みました。日本と比べて緯度の高いモンゴルでは、19時を過ぎても夕焼け空が一面に広がっていて、日本では見慣れない草原や丘の情景が車窓を流れていきます。とはいえ、1時間ほどで到着した市内には、もはや自然の景色はなく、高い建物やホテル、飲食店が立ち並んで、思っていたよりも発展しているという印象がありました。

翌日の午前、設立された図書館がある二つの学校を訪問し、開館式が催されました。各学校へはバスで移動しましたが、ウランバートルから少し離れると道は舗装されておらず、昨日市内で感じた街の発展は一部のことなのだと実感しました。

初めてのテーブルカット

それぞれの学校では、生徒たちによるモンゴルの伝統的な舞踊や楽器の演奏、歌が行われ、テーブルカットも初めて経験しました。このような経験は一生に一度のことだと思います。また、校長先生いわく、図書館に生まれ変わった部屋は、改装前は寒くて何もない、誰にも使われていない部屋だったそうです。



補助金に参加して得られた多くの学び

今回は2校で図書館を設立しましたが、図書館を設置する学校を決めるためにKhureeロータリークラブの方々が直接足を運び、現場を見て決定したことを知りました。これらの学校はウランバートル市外のいわゆる「ゲル地区」にあり、ここには電気や水道もない家庭があると聞きました。そのような状況で学習環境が整うはずがないと改めて気づき、グローバル補助金の意義を改めて実感しました。

セレモニーを終え、ウランバートルに戻った私たちは、市内を観光し、Khureeロータリークラブとの懇親会に向かいました。懇親会ではKhureeクラブが現在までにグローバル補助金を通じて実施した活動を紹介してくれました。グローバル補助金という制度自体になじみの少なかった私たちは、さまざまなプロジェクトに精力的に取り組んでいるKhureeロータリークラブの活動に衝撃を受けました。ロータリーアクトクラブの立場が向上し、グローバル補助金を利用できるようになったことのメリットをまだうまく活かしていない私たちにとって、とても参考になる時間でした。

乗馬を体験

現地のロータリーアクターを交えた共同例会では、今回のモンゴル図書館プロジェクトの説明と大阪東ロータリーアクトクラブについて発表し、現地のロータリーアクターからは奉仕プロジェクトの発表がありました。使わなくなったPCを廃棄する代わりに郵送してもらって教育に活用するプロジェクトや、病院に子どもが遊べる待合室を作るプロジェクトなど、子どもへの教育や奉仕に重点を置いたプロジェクトが多く、彼らの奉仕の中心には次世代への想いが詰まっていることを感じました。



大阪東ロータリーアクトクラブの会員がグローバル補助金についてよく理解していないことを知ったKhureeロータリークラブの会員は、私たちのためにグローバル補助金の説明会も行ってくれました。モンゴルのロータリークラブとロータリーアクトクラブの、各地域のニーズの把握力、行動力は、私たちも学習しなければならないと思いました。

このような経験は、モンゴルを訪問したからこそ得られた知見なのだと思うと同時に、持続可能なプロジェクトを継続的にやっていくことが一番重要なのだと、今回の訪問を通して改めて気づきました。

グローバル補助金では、プロジェクトの「持続可能性」が申請要件にあります。今回のモンゴル図書館プロジェクトでも、図書館の設置が目的ではなく、「学校に通う生徒たちの識字率が向上すること」が最終目的です。このため、国の協力を得て教師への継続的な研修も行われるようにしました。図書館の設置は終わりましたが、生徒たちの識字率が向上するまでこのプロジェクトは終わらないということです。

最終日には、現地で交流した多くの方が見送りに来てくれました。最後まで温かい人に囲まれた貴重な経験となりました。このような貴重な機会を与えてくださった大阪東ロータリークラブに感謝を申し上げます。